

「平成26年2月から適用する公共工事設計労務単価」 の適用による予定価格の設定および特例措置について

技能労働者の不足等に伴う労働市場の実勢価格を適切・迅速に反映するとともに、社会保険への加入を徹底するため、国は、平成26年2月から適用する公共工事設計労務単価（以下「新労務単価」という。）を、平成25年度公共工事設計労務単価（以下「旧労務単価」という。）と比べて全国平均で約7.1%引き上げました。

併せて国は、市場の実勢を適切に反映した予定価格となるよう、新労務単価の速やかな適用を各自治体に対して要請しています。

それを受けて東京都でも、新労務単価を速やかに予定価格に反映させるなどの措置を講じることとしています。

練馬区においても、工事等の品質確保と技能労働者の適切な賃金水準確保の観点から、国および東京都に準じて、速やかに新労務単価を予定価格に反映させるとともに、既に公表している案件についても、可能な限り新労務単価に基づく予定価格に変更して入札を行います。

なお、当面の間は、新労務単価を反映して予定価格を設定した工事案件等については公表時にその旨を、公表後に新労務単価を適用して予定価格を変更したものについては、資格確認結果通知および指名通知等でその旨をお知らせします。

ただし、新労務単価に基づく予定価格の再積算が入札手続きに間に合わない場合等は、受注事業者から新労務単価に基づく契約金額に変更請求ができる特例措置により対応します。特例措置対象工事等の受注事業者の方には、手続き等について別途通知します。

受注事業者の皆様におかれましては、この趣旨をご理解いただき、技能労働者への賃金水準の引上げ等について、より一層の対応をお願いいたします。